

組立説明書

自転車 折りたたみ小径車 折りたたみハンドルステム(フリーフィットステム) タイプ

20180222

⚠️ 注意：製品の組立て前に必ずお読みください。

- ・初期不良対応期間は、お買い上げ日もしくは商品到着から7日間です。
- ・防犯登録は法律により義務化されています。お買い上げの自転車は防犯登録を行ってからご使用ください。
- ・自転車は点検整備が必要です。日常的に安全点検を行ってください。また、購入後1ヶ月、半年から1年毎に定期点検を受けてください。
- ・点検や整備、防犯登録（解除）の費用はお客様のご負担となります。
- ・販売証明書は、文字通り店舗がお客様へ自転車を販売したことを証明するものです。販売証明書は、自転車を購入された販売店へご依頼ください。
- ・お近くに取扱店がなくインターネットショッピングでお買い求め頂いた場合でも、必ず自転車整備有資格者のいる店舗で点検を受けてください。店舗での点検を行っている場合に限り、製品保証対応期間が1年間となります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

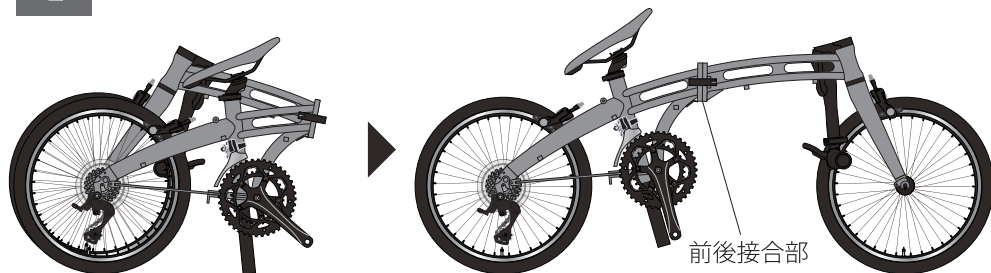
組立て手順

本製品は組立てが必要です。組立てには知識と技術が必要となります。
本書をよくお読みの上、手順に従い組立てを行ってください。

⚠️ 注意

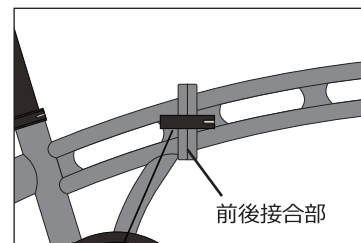
自転車は点検整備が必要です。組立てをご自身でされる場合でも、ご乗車前には必ず自転車整備有資格者のいる店舗で点検整備を受けてください。

1 折りたたみフレームを開く



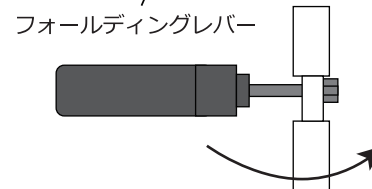
フレームの前側と後ろ側を持ちながら、折りたたまれたフレームを開きます。
このとき前後接合部に指や各部パーツを挟まないよう注意してください。

2 折りたたみフレームを固定する



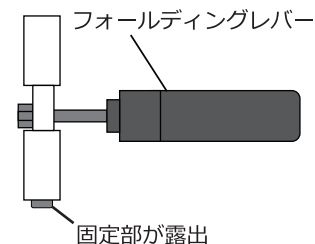
折りたたみフレームを固定します。

まず、折りたたまれたフレームを開き一直線に伸ばします。このときフレームの前後接合部がきちんと設置していることを確認してください。



次に、折りたたみフレームの前後接合部を設置している状態で、フォールディングレバーをフレーム後方から前方へ動かします。前方へ動かすことで接合部下の固定部が露出します。

フォールディングレバーを前方に倒す

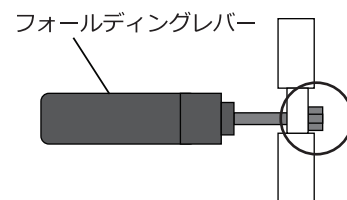


固定部により前後接合部が固定されていることを確認したら、フォールディングレバーを後方に押し倒します。このとき、**フォールディングレバーに刻印されているロゴが地面と水平に見える位置**にレバーを倒して固定してください。

⚠️ 警告

乗車するには、必ずフォールディングレバーが確実に固定されているか確認してください。固定力が不十分なまま乗車されると走行中にゆるんだり、外れる可能性があります。大変危険です。

折りたたみレバーが固い、あるいはゆるすぎる時



フォールディングレバーの固さは、別途工具を用いて調整することが可能です。左図の丸印部分にあるフォールディングレバーの末端のナットで固定力を調整してください。

3 ハンドルステムを固定する

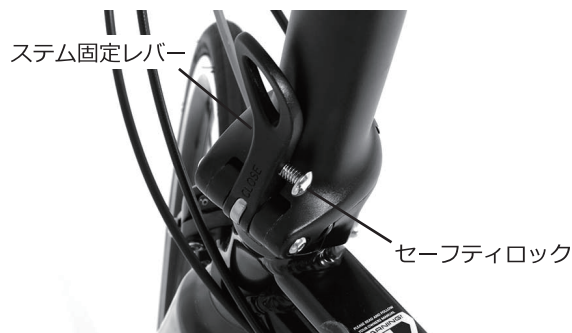


ハンドルを持ち上げ、ハンドルステムを起こします。このとき、ブレーキやシフターに接続されているワイヤーを接合部に挟まないよう注意してください。

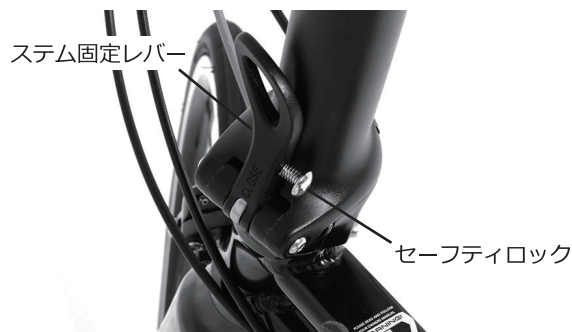
ステム固定レバーを倒しながら、ハンドルステム上部を真っ直ぐに伸ばします。このとき、ステム固定部をハンドルステム上部の溝に引っかかるように伸ばしてください。

ステム固定部が溝に引っかかっていることを確認したら、ステム固定レバーを上方へ押し込みます。このとき、ステム固定レバーに備え付けられた**セーフティロックがカチッと音がする**まで押し込んでください。

押し込み後、何度かステム固定レバーを動かし、固定が確実に行われていることを確認してください。



ハンドルステムを折りたたむとき

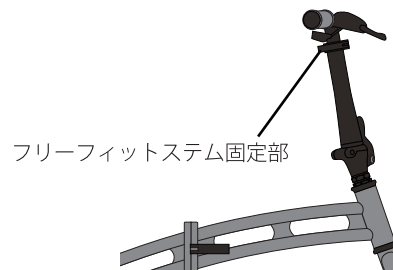


ハンドルステムを折りたたむ際は、セーフティロックを押し込みながらステム固定レバーを下方向に倒します。ステム固定レバーが完全に下方向に倒れていることを確認したら、ハンドルステムを折りたたみます。

⚠ 警告

乗車する際には、必ずハンドル各部が確実に固定されているか確認してください。ゆるみやガタツキがある状態で乗車されると走行中にゆるんだり、外れる可能性があり大変危険です。各部にゆるみやガタツキがある場合は、上記手順の確認を行い、再度固定を行ってください。

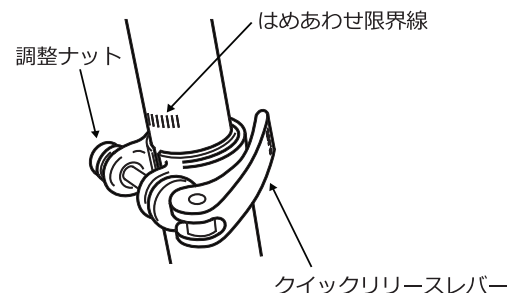
4 フリーフィットステムを固定する



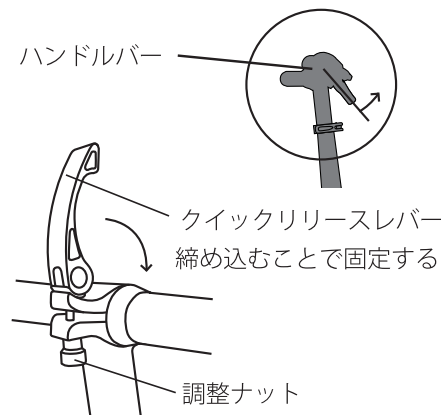
折りたたみハンドルステムの上部にあるフリーフィットステム固定部を操作し、ハンドルの高さを調整します。

ハンドルをお好みの高さに設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。このとき、ハンドルの高さはハンドルポストに刻印されている**はめ合わせ限界線が見えない位置**に設定してください。

また、固定力が弱いと感じた場合は、クイックリリースレバーをゆるめた状態で反対側にある調整ナットを回して固定力を調整してください。



5 ハンドルの角度を調整する



ハンドルステム上部にあるクイックリリースレバーを開放し、ハンドルの角度を調整します。ハンドルをお好みの角度に設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。

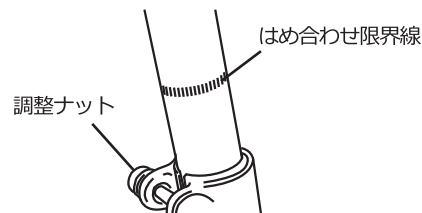
また、固定力が弱いと感じた場合は、クイックリリースレバーをゆるめた状態で反対側にある調整ナットを回して固定力を調整してください。

ハンドルの固定後、何度かハンドルを上下に動かし、固定が確実に行われていることを確認してください。

⚠ 警告

乗車する際には、必ずハンドル各部が確実に固定されているか確認してください。ゆるみやガタツキがある状態で乗車されると走行中にゆるんだり、外れる可能性があり大変危険です。各部にゆるみやガタツキがある場合は、上記手順の確認を行い、再度締め付けを行ってください。

5 シートポストを固定する



シートポストをフレームに取り付け、サドルの高さを調整します。

サドルをお好みの高さに設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。このとき、サドルの高さはシートポストに刻印されている**はめ合わせ限界線が見えない位置**に設定してください。

また、固定力が弱いと感じた場合は、クイックリリースレバーをゆるめた状態で反対側にある調整ナットを回して固定力を調整してください。

⚠ 注意

サドルの高さを調整される場合は、シートポストに刻まれた「はめ合わせ限界線」を超えて固定しないでください。限界線を超えて乗車されると破損の恐れがあり、大変危険です。

6 ペダルを取り付ける



ペダルを取り付けます。ペダルには右側用（Rの刻印、ペダル軸に溝なし）と左側用（Lの刻印、**ペダル軸に溝あり**）があります。取り付け前にペダルの左右に間違いがないか確認してください。

右側用ペダルはクランクに対して**時計回りで取り付け**、左側用ペダルはクランクに対して**反時計回りで取り付け**ます。

ペダルの取り付けは、最初は手締めで取り付けてから、最後に付属の工具を用いて確実な固定を行ってください。



左側用ペダルにはペダル軸に細かい溝があります。

6 ペダルを取り付ける（つづき）

⚠ 注意

ペダルには右用と左用があります。右用と左用では、ペダル軸のねじの切り方が異なりますので、ペダルの取り付けの際は、ペダルの左右をよく確認のうえ取り付けを行ってください。

⚠ 注意

ペダルを無理矢理クランクにねじ込まないでください。無理矢理ペダルをねじ込むと、クランクのネジ山が削れ、走行中にペダルが脱落する恐れがあり、大変危険です。スムーズに取り付けができない場合は、無理にねじ込まず、取り付けを最初からやり直してください。

⚠ 警告

ペダルの固定は確実に行ってください。固定が不十分な状態で乗車されると、走行中にペダルのゆるみや脱落する可能性があり大変危険です。

以上で本製品の組立ては完了です。

乗車前に各部にガタツキやゆるみがないか、部品はしっかりと取り付けられているかを十分に確認してください。

組立て・調整方法については当社 WEB ページ上にて案内しておりますので、別途ご参照ください。



FAQ・よくあるご質問
各部の調整方法

http://www.doppelganger.jp/after_service/faq/

⚠ 点検・調整チェックリスト（取扱説明書 p.18）に基づく点検を行ってください。

- ・点検時期以外でも異常を感じた場合、点検・調整を行ってください。
- ・お買い求め後 1ヶ月以内に第一回目を、第二回目以降は 1年毎に実施してください。
- ・点検・整備はお早めに自転車販売店（自転車整備有資格者）に依頼してください。（有料）
- ・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、製品を購入された自転車販売店にご相談されるか、弊社サポート窓口までご連絡ください。